

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	R2年 2月14日	
記入者	団体等名	手をつなぐ育成会
	記入者名	酒巻 幸代
	部署名	障がい福祉課
	記入者名	鈴木 裕規

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	第3回屋内スポーツ大会	
事業の実施者	団体等	手をつなぐ育成会
	行政	障がい福祉課
事業の目的	障がい者スポーツの推進及び交流の促進。 障がいを持つ人も持たない人もともに参加し、ルールや道具を工夫して一緒にスポーツを楽しむ。	
事業の内容	実行委員会を立ち上げ、「屋内スポーツ大会」の企画及び運営に関する協議、関係機関との連絡調整を行い、「屋内スポーツ大会」を実施。大会は全6種目の競技を自由に体験する第1部(午前)と、なまりんフレンドリーカップと称した卓球バレー&ポッチャ大会を開催する第2部(午後)の2部構成で実施。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	実行委員会 3回 役員会1回 開催 屋内スポーツ大会 令和元年12月8日に実施 参加者201名	
協働事業決算	総額 49,488円(一般会計 29,488円 協賛金 20,000円)	
	簡単な内訳	大会当日役員・ボランティア弁当代 26,520円 大会消耗品(カラーペーパー、賞状用紙、ラインテープ、景品等) 22,968円
実施期間	令和元年8月9日 から 令和元年12月8日 まで	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日：令和2年1月31日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 来年度は企業等にも参加を呼びかけ、就労等につながる取組をしたい。  【行政】 同上。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 詳細な改善策については来年度の実行委員会で検討していく。  【行政】 同上。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2020.ver1.2

提出日	令和2年5月10日	
記入者	団体等名	NPO 法人病児保育をつくる会
	記入者名	三上 久子
	部署名	子育て支援課
	記入者名	石井

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	緊急サポート事業																					
事業の実施者	団体等	NPO 法人病児保育をつくる会																				
	行政	子育て支援課																				
事業の目的及び目標値	<p>【目的】 緊急性を伴う預かりを行うことにより、保護者の仕事と育児の両立を支援する。</p> <p>【目標値】 利用件数 15 件、利用会員数 115 名、協力会員数 30 名、講習受講者数 5 名</p>																					
事業の内容	小学生まで児童を対象に病気、急な出張、保育施設での急な呼び出しがあった場合の送迎など、緊急性を伴う預かりを会員同士の相互の助け合いで行う。																					
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	利用件数 40 件(病児 12 件、預かり 21 件、送迎 7 件)、利用会員数 193 名、協力会員数 26 名、講習受講者数 4 名																					
協働事業決算	総額 915,600 円 (うち市負担分 915,600 円)																					
	簡単な内訳	<table border="0"> <tr> <td>委託料 (内訳)</td> <td>人件費</td> <td>651,542 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>広報費</td> <td>41,177 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>講習会費用</td> <td>64,279 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保険費用</td> <td>9,625 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>通信費</td> <td>41,756 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般管理費</td> <td>90,834 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>16,387 円</td> </tr> </table>	委託料 (内訳)	人件費	651,542 円		広報費	41,177 円		講習会費用	64,279 円		保険費用	9,625 円		通信費	41,756 円		一般管理費	90,834 円		その他
委託料 (内訳)	人件費	651,542 円																				
	広報費	41,177 円																				
	講習会費用	64,279 円																				
	保険費用	9,625 円																				
	通信費	41,756 円																				
	一般管理費	90,834 円																				
	その他	16,387 円																				
実施期間	平成31年4月1日 から 令和2年3月31日 まで																					
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助																					

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日： 令和2年4月30日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 サポート会員に係る講習会の実施時期や事業内容について共有を図った。  【行政】 同上		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 サポート会員に係る講習会の周知方法を改め、受講者が増加するような改善策を図り共有した。  【行政】 同上		

## 吉川市協働事業評価シート\_2020.ver1.2

提出日	令和2年5月10日	
記入者	団体等名	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	記入者名	中島 真由美
	部署名	子育て支援課
	記入者名	石井 賢聖

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	ホームスタート事業	
事業の実施者	団体等	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	行政	子育て支援課
事業の目的及び目標値	<p>【目的】育児に不安を抱えている保護者を対象に家庭訪問を通じて育児相談を行い、保護者の孤立を防ぐ。</p> <p>【目標値】 訪問回数: 210回</p>	
事業の内容	未就学児を抱える引きこもりがちな親に対して、一定のノウハウを身につけた地域ボランティアが自宅へ出向き、何気ない会話のなかで孤立感を防止し、児童虐待を防止することはもとより、家族のエンパワーメントを図ることで子どもの利益を実現する。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	訪問回数: 311回 ビジター数: 41名	
協働事業決算	総額 1,416,000 円 (うち市負担分 1,416,000 円)	
	簡単な内訳	人件費: 1,043,100 円 研修費: 144,480 円 通信費: 84,000 円 消耗品: 13,000 円 交通費: 61,000 円 その他: 70,420 円
実施期間	平成31年4月1日 から 令和2年3月31日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和2年4月24日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> オーガナイザー1名が欠員に対しての、対策対応方法及び事業体制の在り方について共有した。 新規予定件数が想定件数を大幅に上回ったことについての情報共有や利用者のニーズの多様化を共有した。 <b>【行政】</b> 同上		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 問い合わせ番号を、固定電話から携帯電話に移行することで、どのような場所でも時間でも対応できるように改善を図った。 また、多様化している利用者のニーズに対応できるよう、ビジター(訪問支援員)のスキルアップと人員確保についての必要性を共有した。 <b>【行政】</b> 同上		

## 吉川市協働事業評価シート\_2020.ver1.2

提出日	令和2年5月10日	
記入者	団体等名	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク
	記入者名	中島 真由美
	部署名	子育て支援課
	記入者名	石井 賢聖

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	子育て支援センター運営事業														
事業の実施者	団体等	NPO 法人よしかわ子育てネットワーク													
	行政	子育て支援課													
事業の目的及び目標値	<p>【目的】児童福祉法に定められた子育て支援事業の一つ。地域における子育てを支援するため、子育て中の親子の交流の場の提供、子育て相談、地域の子育て関連情報の提供など、子育て支援センターの運営を行う。(美南子育て支援センター及び中央子育て支援センター)</p> <p>【目標値】 利用者数(延べ) 合計 21,250 人</p>														
事業の内容	<p>(1)子育てサロン等子育て支援事業の展開</p> <p>(2)出前講座の開催</p> <p>(3)吉川市子ども・子育て応援サイト「よしよしねっと」の管理運営</p>														
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	<p>利用者数(延べ)</p> <p>美南子育て支援センター: 10,300 人</p> <p>中央子育て支援センター: 5,409 人</p>														
協働事業決算	総額 13,347,000 円 (うち市負担分 13,347,000 円)														
	簡単な内訳	<table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>12,506,270 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>80,000 円</td> </tr> <tr> <td>負担金等</td> <td>65,200 円</td> </tr> <tr> <td>研修費</td> <td>15,000 円</td> </tr> <tr> <td>講師謝金</td> <td>60,000 円</td> </tr> <tr> <td>賠償保険等</td> <td>45,130 円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>575,400 円</td> </tr> </table>	人件費	12,506,270 円	消耗品	80,000 円	負担金等	65,200 円	研修費	15,000 円	講師謝金	60,000 円	賠償保険等	45,130 円	その他
人件費	12,506,270 円														
消耗品	80,000 円														
負担金等	65,200 円														
研修費	15,000 円														
講師謝金	60,000 円														
賠償保険等	45,130 円														
その他	575,400 円														
実施期間	平成31年4月1日 から 令和2年3月31日 まで														
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助														

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり振り返り段階

話し合いをした日：令和2年4月24日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 提供されている備品などについて、現場目線の意見が取り入れられるなど、それぞれの立場を尊重し合える関係性が得られた。 目的のすり合わせをして、目的に合った行動の選択を共有できた。 <b>【行政】</b> 同上		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 支援センターを運営するうえで、疑問や不安などを感じた時は、言語化して共有し、より目的を意識した行動の選択が出来るように改善を図った。 <b>【行政】</b> 同上		



## 吉川市協働事業評価シート\_2020.ver1.2

提出日	令和2年 5 月 10 日	
記入者	団体等名	吉川市青少年相談員協議会
	記入者名	水野 和希
	部署名	子育て支援課
	記入者名	尾花 香穂

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	青少年相談員活動推進事業	
事業の実施者	団体等	青少年相談員協議会
	行政	子育て支援課
事業の目的	スマートフォンの未成年所持率の急増、ソーシャルメディアの普及などによって、青少年を取り巻く状況は刻々と変化している。情報化社会は便利さや他者と気軽に繋がれる環境を作る一方で、青少年の主体的な思考や活動を阻害される側面を持ち、かつてに比べて主体的に考え行動する「生きる力」の低下が懸念される部分もあるため、本協議会では野外活動での体験を通じ、青少年の主体性の尊重・醸成を目指すこと目的としている。	
事業の内容	公園や公民館等にみんなで集まり、レクリエーションや料理等をする。また、年に1回キャンプを行う。子どもたちが試行錯誤を重ね最後までやり抜く力を培い、頑張った後の達成感を感じるとともに、仲間と協力することの大切さを学ぶ。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	年に1回のサマーキャンプは今年で19回目の実施となる。 【平成31年度サマーキャンプ参加人数】 相談員: 11名 参加者: 28名(男 10人、女 18人) 計: 39名	
協働事業決算	総額	146,000 円
	簡単な内訳	市補助金額:146,000円
実施期間	平成31年4月1日 から 令和2年3月31日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和2年4月29日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 サマーキャンプの参加者が少ないため、広く周知するための方法等についての課題を共有した。  【行政】 サマーキャンプの参加者が少ないため、広く周知するための方法等についての課題を共有した。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 サマーキャンプの参加者が増えるよう、ちらしの配布をする、ポスターの掲示をする等の改善策を共有した。  【行政】 サマーキャンプの参加者が少ないため、広く周知するための方法等についての課題を共有した。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2020.ver1.2

提出日	令和 2年 4月 30日	
記入者	団体等名	吉川市連合長寿会
	記入者名	青山
	部署名	健康長寿部長寿支援課
	記入者名	浅子

## 1 協働事業の概要

協働事業名	老人福祉センター運営事業		
事業の実施者	団体等	吉川市連合長寿会	
	行政	健康長寿部長寿支援課	
事業の目的及び目標値	高齢者の健康維持・増進、教養の向上を目指し、仲間づくりの拠点である老人福祉センターの円滑な運営を図る 目標値: 利用者の増加		
事業の内容	高齢者の互助組織である吉川市連合長寿会を指定管理者として主体的に管理運営を行うことで、高齢者の希望に合わせた教養講座やレクリエーション等の展開につなげ、高齢者の健康づくりと生きがいづくりを図る		
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	平成31年度利用者数(右欄前年度)		
	個人	5,206人	6,500人
	団体	22,590人	26,393人
	その他	4,473人	5,671人
協働事業決算	総額 31,602,450円 (うち市負担分 31,602,450円)		
	簡単な内訳	施設管理業務委託料 27,326,000円 施設修繕料 1,069,140円 警備委託料 379,320円 火災保険料 13,790円 敷地借上料 2,814,200円	
実施期間	平成31年 4月 1日 から 令和 2年 3月 31日 まで		
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助		

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和 2年 3月28日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 毎月第2火曜日に行われる指定管理者会議において、課題を話し合い、共有しました。  【行政】 同上		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 令和2年度より、指定管理者が特定非営利活動法人たすけあい・よしかわになるため、今年度までの事業を低下させず、更なる事業内容の充実を図るための会議を3回開催し、改善策を話し合い共有しました 【行政】 同上		

## 吉川市協働事業評価シート\_2020.ver1.2

提出日	令和2年5月14日	
記入者	団体等名	NPO 法人たすけあい・よしかわ
	記入者名	代表理事 野田 妙子
	部署名	健康長寿部長寿支援課
	記入者名	豊田 敏昭

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	生涯現役の養成事業～世代を越えた交流による、元気シニア創生とまちづくり～	
事業の実施者	団体等	NPO 法人たすけあい・よしかわ
	行政	健康長寿部長寿支援課
事業の目的及び目標値	<p>本事業は、これまで地域社会と関わる機会が少なく地域デビューに結びついていない男性シニアや、これから退職時期を迎え地域デビューを希望する男性シニアなどに向けた地域活動等への参加支援を実施することで、地域デビューへの不安を取り除くとともに地域活動等への参加促進を図ることを目的とする。</p> <p>目標値: 男性参加率 50%以上 新規参加者 20 名以上</p>	
事業の内容	<p>男性シニアの地域活動などへの参加を後押しするため、NPO 法人たすけあい・よしかわに事業を委託し、シニア元気塾(グループ別活動)を5月から10月の第5期、11月から2月の第6期の2期に分けて実施した。また、シニア元気塾たまり場の運営を行い、参加者の自主的活動の支援、交流、情報交換を行った。</p>	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	<p>1 シニア元気塾の開催 野菜作り、高齢者福祉の増進(福祉有償運送事業)、スポーツで子どもたちと交流、吉川市歴史探訪・ウォーキングの4グループで活動した。 参加者数: 延べ 692 名(男性 340 人/49%: 女性 352 人/61%) (福祉有償運送事業については半期で357件の利用があり、3,337.41 キロの運送を行った)</p> <p>2 シニア元気塾たまり場の開催 毎月第1・第3水曜日に平沼地区高齢者ふれあい広場において、参加者の自主的活動(笑いヨガ、歌声喫茶、英会話など)の支援、シニアへの情報提供と相互交流の場作りを行った。 参加者数: 延べ参加者数 481 名</p>	
協働事業決算	総額 2,964,232 円 (うち市負担分 2,964,000 円)	
	簡単な内訳	委託料
実施期間	平成31年4月19日 から 令和2年3月31日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日： 令和2年4月24日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 多くの市民に参加してもらうには企画の信用性や公共性の担保が必要であり、行政の支援はとても重要だった。しかし、集まった市民が自ら活動していくためには、細かなサポートが必要で、それには地域に根ざした市民団体の力が有効であり、そうしたお互いの強みと役割を認識しつつ活動できたことは大きな収穫であり成果であったと確信できた。 【行政】 平成29年より継続して本事業の取り組みを行ってきており、今年度は具体的なグループ活動を通じて男性シニアの地域活動の参加促進を図ることができた。以上の課題について情報共有を図れた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 今年度行った事業を引き続き行うとともに、グループ間の横のつながりを充実させるとともにさらなる活動の展開を目指し、多様な世代や団体とのコラボレーションに取り組んでいく。 【行政】 引き続き男性シニアの地域活動の参加促進を図るため、新規参加者の募集や団体の取り組みについてPRや広報を行うなど支援を行っていく。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和 2年 2月 7日	
記入者	団体等名	吉川市民まつり運営委員会
	記入者名	立原 司朗
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	鈴木 沙織

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	吉川市民まつり助成事業	
事業の実施者	団体等	吉川市民まつり運営委員会
	行政	市民参加推進課
事業の目的	吉川市民まつり運営委員会に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、市の物産品や市内企業の PR 及び活性化を目指し、より一層ふるさとづくりを推進することを目的とする。	
事業の内容	市民が互いに交流を深め、コミュニティづくりの推進を図るとともに、市民文化の向上や農業・商工等の振興に寄与するため、吉川市民まつり運営委員会を設置し、市民が主体となった企画・運営で市民まつりを開催する。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	開催までに、市民を委員とした運営委員会等を計6回行い、企画等の意見を交わした。まつり当日は市内外から多くのお客様が来場し、大いに賑った。来場者アンケートでは「また来たい」との回答を99%いただき、多くの来場者から「毎年楽しみにしている」との声もいただくことができた。	
協働事業決算	総額	3,797,073 円
	簡単な内訳	印刷費(221,700 円)、会場費(3,256,451 円)、備品購入費(68,550 円)、消耗品費(24,192 円)、イベント事業費(39,190 円)、交流事業費(180,000 円)、事務費(6,990 円)
実施期間	令和元年 5月29日 から令和2年 2月 6日 まで	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日：令和2年2月6日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 販売時間の周知方法や搬出入ルール、行列をスムーズに整列させることが出来るテント配置等について行政と共有し、解決策について意見交換した。 【行政】 昨年度の市民まつりを開催した際に挙げられた課題をもとに、販売開始時間の周知を図るための方策や、搬出入ルールについて話し合った。また、市民まつりをより一層盛り上げるためのイベントについてアイデアを出し合い、実現に向けて話し合った。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 今年度は、運営委員長による開会宣言及び花火打ち上げの時間と、販売時間周知札の時間のズレがあったため、販売時間周知札の文言を改善したい。搬出入ルールについて、搬入時間を守らない団体が見受けられたとの報告があったため、次年度は搬出入ルールの周知徹底について話し合いたい。前年度課題として挙がっていた搬出時間前の道路上の混雑については、事前に課題共有し、声掛けを促したため解決に至った。 【行政】 市民まつり来場者及び出展団体アンケートで出された意見を団体・行政間で共有したうえで、各委員から改善のための取り組みについて意見を出していただいた。出された意見については、来年度の運営委員会に引き継ぎ、次年度の市民まつりに向けて具体的な運営方法を検討していく。		



## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和2年 4 月 28 日	
記入者	団体等名	吉川市国際友好協会
	記入者名	立澤 秀子、樋口 啓一
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	片桐 駿介

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	吉川市青少年親善訪問団派遣事業	
事業の実施者	団体等	吉川市国際友好協会
	行政	市民参加推進課
事業の目的及び目標値	21世紀の国際社会には、一人ひとりが国際的な視野に立ち、世界の多くの人々との交流や協力を通じて世界の平和と繁栄を進めることが求められています。このため、姉妹都市との継続的な交流を行う中で、感性の豊かな時期である青少年に異文化を体験する機会を提供し、国際的な視野を高めることを目的とする。	
事業の内容	市内在住小学6年生から高校3年生を対象に姉妹都市の米国オレゴン州レイクオスエゴ市にホームステイし現地中学校での授業体験やホームステイを通じて異文化を体験する。 【以下の内容で実施予定だったが新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止】 ■ 派遣予定人数 参加者20名、引率3名 ■ 派遣予定期間 平成31年3月29日～4月5日(6泊8日)	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>書類・面接による参加者選考実施</li> <li>レイクオスエゴ市訪問に必要なホームステイのマナー、日本文化紹介の打ち合わせ等の研修会を計4回実施</li> </ul>	
協働事業決算	総額	11,477 円(うち市負担分 11,477円)
	簡単な内訳	【委託料】 11,477円(研修会実施時の茶菓代)
実施期間	令和元年 12 月 8 日 から 令和2年 2 月 21 日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和2年 4月28日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 事前研修ではホームステイの意義について特に徹底を図り、参加者が本事業の内容や意義の理解を深めて準備を進められたのが良かった。 【行政】 4回の事前研修会のみで中止となったが、事前研修会の内容の見直しを図り、当事業の意義を徹底し、参加者の自主性を尊重した内容に変更したことで参加者の成長を感じられた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 研修内容・方法については概ね妥当と考える。今回2011年の東日本大震災発生時以来の事前中止となったが、出発まで約1か月の期間があり、幸い大きな混乱はなかった。今後、出発直前・当日・出発後の中止・中断に備え、その時の対応等について事前に検討しておくことが必要と思われる。 【行政】 今回は中止となったが、研修内容の見直しに成果はあったと思われるので、次回の実施の際も継続していく。また、今回は双方の協議で中止の判断を余裕を持って行えたが、不測の事態の際の対応について、判断基準の共有などを図りたい。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和2年5月 8 日		
記入者	団体等名	吉川市国際友好協会	
	記入者名	会長 立澤 秀子、学習部会長 関口 政則	
	部署名	市民参加推進課	
	記入者名	片桐 駿介	

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	日本語教室	
事業の実施者	団体等	吉川市国際友好協会
	行政	市民参加推進課
事業の目的及び目標値	日本語が話せない外国出身の方に、日本語をはじめ、日本の生活文化などを教えるとともに、参加者同士のコミュニケーションの場を提供し、多文化共生、異文化交流の推進を図る。	
事業の内容	<p>主催：吉川市国際友好協会(スタッフ管理、教材・備品購入など) 共催：吉川市(施設予約、資料印刷、日本語教室ボランティアスタッフ養成講座の開催など)</p> <p>ボランティアスタッフが、日本語で日本語を教えるというスタイルで実施。 また、日本文化の理解を深めるとともに、学習者同士やスタッフとの親睦を深めるため、交流事業を企画・実施。</p>	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	<p>・日本語教室 毎週火曜日 午前の部(10時～12時)、夜間の部(19時～21時) 年間42回実施 ※3月は新型コロナウイルスの影響で中止。</p> <p>・参加者延べ人数 午前の部 学習者291人、スタッフ362人 夜間の部 学習者275人、スタッフ328人 合計 学習者566人、スタッフ690人</p> <p>・交流事業 クリスマス会(12月24日午前の部、夜間の部で実施)</p>	
協働事業決算	総額 156,250 円(うち市負担分 0円)	
	簡単な内訳	支出 156,250 円 茶菓代、教材・備品購入等
実施期間	平成31年4月1日 から 令和2年3月31日 まで	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和2年4月28日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】別紙参照 【行政】別紙参照		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】別紙参照 【行政】別紙参照		

日本語教室 協働事業評価シート 別紙

5	<p>事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式)</p> <p><b>【団体】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政と協働する事により、より多くの市民に活動を発信でき相乗効果は十分あった。</li> <li>2. スタッフの定着について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) スタッフはボランティアであることから出席状況に変動があり、時としてスタッフ不足になる。</li> <li>(2) スタッフの高齢化により安定、継続して活動することの難しさも出てきている。</li> </ol> </li> <li>3. 学習者の定着について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習者は自由参加であるため皆勤者(1年間)もいるが、数回の出席で来なくなる方も多い。</li> <li>(2) 日本語教室は現在“おあしす”1か所しかなく、美南地区に多く住む外国人には交通の便が悪く継続して参加するのが難しい。</li> </ol> </li> </ol> <p><b>【行政】</b></p> <p>養成講座受講者のスタッフ定着もあり、スタッフが不足する状況は改善されつつあるが、安定した運営のためには、さらなるスタッフの確保が望まれる。また、生徒は自由参加で緊急連絡先を把握していない場合もあるため、新型コロナウイルスでの中止などを生徒にどのように伝えるのか課題を残した。</p>
6	<p>上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式)</p> <p><b>【団体】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スタッフの定着について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 中心的に活動してくれるコアスタッフの人数を充実させる。そのためにスタッフ養成講座受講者などへのフォローアップをきめこまかに行う。</li> <li>(2) スキルアップを図るため、コアスタッフを中心に外部講習への参加を奨励する。</li> <li>(3) スタッフのスキルアップ研修は年3回ぐらい必要だと思う。</li> </ol> </li> <li>2. 学習者の定着について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 美南地区に住む外国人、スタッフの為には吉川駅或いは吉川美南駅近くにも開設が望まれます。特に悪天候の場合、クルマの利用が出来ない方は“おあしす”までは大変です。</li> <li>(2) 職場に同郷の先輩や仲間がいると言葉に不自由せず、仕事が優先で欠席がちとなるようであり、経営者の理解度と自由参加であることから難しいテーマです。</li> </ol> </li> <li>3. その他             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習者のレベルは様々であり、それに対応するマニュアル作りが必要と思います。</li> <li>(2) 学習者の自由参加スタイルを採用している現在、誰も来なくてもスタッフは連絡が取れずひたすら待つことになる。個人情報等々難しい問題もあるが、早急に対策が必要と思う。</li> <li>(3) 学習者登録カードに住所・氏名・国籍・電話番号・メールアドレス・その他を可能な範囲で記入していただいているが、緊急連絡が100%可能でないところが今後の課題です。</li> </ol> </li> </ol> <p><b>【行政】</b></p> <p>市内在住外国人は今度も増加傾向であり、日本語教室は言葉だけでなく日本での慣れない生活に戸惑う外国人の心の支えにもなっており、今後益々重要性が増していくと思われる。さらなるスタッフの確保とスキルアップを支援していきたい。</p>



## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和元年8月8日	
記入者	団体等名	To Going Concern for Women
	記入者名	代表理事 吉川真由
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	相川美佐子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	Dream for women & children	
事業の実施者	団体等	To Going Concern for Women
	行政	市民参加推進課・商工課
事業の目的	子育て支援・女性の社会進出への貢献	
事業の内容	女性起業家のさまざまな出店の体験などを通じ、来場者との出会いやふれあいなどによって、普段頑張っているママや女性だけでなく子供達も1つの空間で癒され笑顔になれるフェスタの開催	
事業の実績	<p>■開催日時 令和元年7月5日(金) 午前10時～午後3時</p> <p>■来場者 約400人</p> <p>■内容 物販、ワークショップ、ネイル、飲食販売、託児、写真撮影ブース、ステージ演目など</p>	
協働事業決算	総額 89,000円 (うち市負担分 0円)	
	簡単な内訳	<p>収入 89,000円</p> <p>・出店者協賛金及び出店料</p> <p>支出 80,120円</p> <p>※差額8,880円は次回フェスタ会場費等に充当 参考:会場費5~10万</p> <p>・交通費</p> <p>・交際費(出演者謝礼金)</p> <p>・通信費(FAX・電話等)</p> <p>・雑費(チラシ作成等)</p>
実施期間	令和元年7月5日(金)	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日：令和元年7月31日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 今年度の開催は、準備段階ともに前回で慣れている理事などの協力があり、素早くできた。 また、今回は理事の中で共有部分を増やし、お客様にいかに楽しんでもらうか、出店されている女性起業家の方にいかに安心して出店してもらえるか、という点に重点を置いた。その点は、うまくいった。 一方で、フェスタの流れとしては前回同様の部分が多かったため、昨年度と比較し、目立って良かった部分もなかった、という印象もある。 <b>【行政】</b> 今回、商工課の協力を得て、当日、当課と商工課各1名ずつで受付を担当した。平日開催だったが、多くのお客様が途切れることなく訪れ、ゆっくりとフェスタを楽しまれていた。初参加の商工課職員からは「会場のゆったりした空気感が、ママたちに安心感を与えてくれるのでは」との感想。子育て支援課の職員も会場を訪れていた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 継続していくことが大切であり、毎年恒例の行事ということで、来年度も継続していきたいと考えている。 今回、昨年度と比較してあまり代り映えがなかったという感もあり、次年度はさらにパワーアップし、より一層、「一つの空間で笑顔になれる」場所の提供ができるようにしたいと考える。 <b>【行政】</b> 多様な働き方を後押しする当イベントは意義深い。 また、今回から、就労や起業の担当課である商工課も協力することができた。 来年も継続するという事なので、会場確保やイベント周知など、協力していきたい。		



## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	2019年 8月 26日	
記入者	団体等名	ワークショップ楽えん
	記入者名	代表 成田 寿子
	部署名	市民参加推進課
	記入者名	片桐 駿介

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	二胡音楽交流演奏会	
事業の実施者	団体等	ワークショップ楽えん
	行政	市民参加推進課
事業の目的	中国の伝統楽器二胡の紹介と音楽での文化交流 二胡の演奏や様々な楽器演奏や歌などで音楽を通じて交流を深める音楽交流演奏会	
事業の内容	音楽交流演奏会では二胡演奏のほか様々な楽器や歌との共演 吉川市、台湾、中国の街をご紹介、台湾のデザートやお茶などの飲み物を販売 入場者の皆様と一緒に童謡「ふるさと」を中国語で歌う	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	【参加者数】 入場者 63 人、出演者 30 人、ボランティア 1 人、ゲスト 1 人 合計 95 人	
協働事業決算	総額 116,711 円 (うち市負担分 0円)	
	簡単な内訳	<b>【収入】116,711円</b> 参加費 56,000円 事業費 30,000円 協賛金 30,000円 寄附金 711円 <b>【支出】116,711円</b> 広告費 18,748円 会場費 3,050円 会場装飾 1,944円 謝礼・食費 84,800円 雑費・寄附金 8,169円 <b>【収支】</b> 0円
実施期間	令和元年8月10日	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日：令和元年 8月23日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 吉川市、台湾のご紹介に加え、中国珠海市の紹介と中国語での文化交流を行った。協力団体として国際友好協会の中国語教室の生徒の発表を行なった。音楽交流では二胡演奏の他に、オカリナサークル、ワークショップ楽えんのアーティストとの共演や、中国語で歌う「ふるさと」が好評だった。 【行政】 前回の開催から主催団体と市民、市民団体の交流がさらに進み、音楽演奏だけにとどまらない様々な内容が実施され、好評だった。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 アジアの国々の文化の紹介や市民との交流の時間を作りたい。また、他市のサークルや教室などの方々との音楽交流もできるようになればと思う。 【行政】 台湾などの外国出身の市民が多く参加する事で、より一層交流が深まると感じた。		

# 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

資料4-13

提出日	令和 元年 6月 14日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見 祥子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	環境展 2019	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行政	環境課
事業の目的	環境団体や企業の環境活動をパネル等で展示するとともに、体験講座を通して環境の大切さを多くの市民へ伝える。	
事業の内容	①環境団体、企業の環境活動、県や市のパネル展示。 ②栄小学校の校外授業の実施。 ③緑のカーテンの普及、啓発PR。 ④環境体験講座の実施。 ⑤SDGsのPR及び宣言文の募集。 ⑥エコグッズ等の販売及びスタンプラリーで花の苗等プレゼント。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	令和元年6月6日(準備)から6月8日 来場者数 330名(2日間合計)	
協働事業決算	総額	49,100 円
	簡単な内訳	・ポスター・チラシ作成・印刷 3,300 円 ・展示物作成 2,500 円 ・体験講座の材料代 23,800 円 ・プレゼント用品代 9,500 円 ・スタッフ代(延べ112名) 10,000 円
実施期間	令和元年6月6日(準備) から令和元年6月8日 まで	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和元年6月14日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 各所との情報伝達は円滑に進み、無事に終了することができた。今回は2日のみの実施なるも、体験講座をホール内で集中してやる事で、ほぼ平年並みの参加あり。  <b>【行政】</b> 今年度は2日間集中開催となったこと、ホール一括で各種体験講座を実施したことで集客の効果はもちろん、高齢化するスタッフの負担減にもつながった。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 参加者の大多数が子供だった事から、大人へのPRに工夫したい。ポスターを学校、公共施設以外に、店舗や駅等の人通りの多い箇所への掲示を考慮。 <b>【行政】</b> 引き続き、団体との連携を深め、事業を実施していきたい。 来年度はSNSを使った広報も行う。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和 元年 8月 2日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見 祥子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	環境学習出前講座事業	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行政	環境課 環境保全係
事業の目的	自然環境の保護、資源の有効活用等々により、安心、安全、快適な暮らしの維持が出来る事を体験等を通して学ぶ。	
事業の内容	1 講座メニューの作成及び関係部署への広報 2 講座の申し込み受付 3 講座の実施に際し、関係部署との調整（日時・場所・人数の確認、資材の分担調整） 4 講座の実施 5 講座実施後のフォロー	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	実績:60講座 小学校環境学習教室:36講座 その他市民向け体験講座:24講座  参加者:栄小、旭小、三輪野江小、関小、美南小児童及びPTA、ほか市民多数	
協働事業決算	総額 146,000円(内委託事業費:85,450円)	
	簡単な内訳	1 教材代 65,000円 2 資料代 5,500円 3 講師料(含むスタッフ) 76,000円(95工数)
実施期間	令和 元年 4月 20日 から 令和 元年 7月 19日(一部11月初旬) まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	△	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和 元年 8月 8日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 1 継続事業の為、講座の内容も現状及び学校の要望を踏まえメニューの一部を改訂した。 2 委託事業分として小学校等へ36講座、市民啓発主体に独自で24講座の計60講座実施、意義大 【行政】 メニュー表の作成、配布を4月上旬に行い教頭会にて各学校へ周知した。 今年度は美南小学校に参加いただき、昨年度より小学校からの申込が多く、実施講座を増やすことができた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 1 学校へのアプローチを早くし、日程に余裕を待たせる事で、学校及び講師共々に講座内容の充実。 2 学校に対して責任の所在を明確にする為に、両者（行政も）が立ち合いでの実施が望ましい。 3 自治会の夏休みに開催の「寺子屋」及び社協のボランティア体験を支援し、対象範囲の拡大に努めた。 【行政】 責任所在については、引き続き行政職員が小学校の座学講座に立ち合うことを両者間で決定した。 講師の高齢化に伴い、野外講座等に補佐が必要。		

# 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

資料4-15

提出日	令和 2 年 2 月 13 日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見 祥子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	環境フェスティバル2020										
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ									
	行政	環境課									
事業の目的	小学生及び市民の環境学習成果発表・活動報告に関する後援を通じて、市民へ環境保全の大切を発信する。										
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 環境団体、企業の環境活動、小学校の環境活動の展示。</li> <li>2 栄小学校の環境活動成果の発表。</li> <li>3 旭 小学校及び三輪野江小の環境活動成果の発表(ビデオにて)。</li> <li>4 講演1;WWFジャパン・伊藤小百合氏 {私たちの暮らしと熱帯雨林をつなぐもの}</li> <li>講演2;田んぼソムリエ・林 鷹央 氏 「田んぼソムリエになろう! ~身近な生き物探し~</li> <li>5 SDGs紹介</li> <li>6 中山市民生活部長の開会挨拶、戸張教育長の講評</li> </ol>										
事業の実績	参加人数:197名 小学校18名、吉川美南高校4名、講師2名、市民生活部長、教育長、越谷環境管理事務所長含め3名、小松川工専工業副会長、環境部会長、市民127名、企業14名、環境ネットワーク20名、環境課5名										
協働事業決算	総額 112,514 円										
	簡単な内訳	<table border="0"> <tr> <td>1 発表校(含むパネル展示)支援</td> <td>10,620円</td> </tr> <tr> <td>2 発表記念・参加記念</td> <td>22,994円</td> </tr> <tr> <td>3 講師謝礼(含む交通費)</td> <td>48,000円</td> </tr> <tr> <td>4 事務費用(ポスター・チラシ印刷含む)</td> <td>26,900円</td> </tr> <tr> <td>5 SDGs発表</td> <td>4,000円</td> </tr> </table>	1 発表校(含むパネル展示)支援	10,620円	2 発表記念・参加記念	22,994円	3 講師謝礼(含む交通費)	48,000円	4 事務費用(ポスター・チラシ印刷含む)	26,900円	5 SDGs発表
1 発表校(含むパネル展示)支援	10,620円										
2 発表記念・参加記念	22,994円										
3 講師謝礼(含む交通費)	48,000円										
4 事務費用(ポスター・チラシ印刷含む)	26,900円										
5 SDGs発表	4,000円										
実施期間	R1 年 9 月 (準備) から R2 年 2 月 8 日 まで										
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助										

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日：令和2年2月11日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 開始当初から頻繁に情報共有し、他所へは協働で対応した事から、円滑にしかも大盛況で無事終了する事が出来た。 【行政】 環境講演を2講演、ビデオ発表も含め環境学習発表校が3校あり、過去3年で最も内容の多いプログラムとなり来場者からも好評であった。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 ポスター、チラシ及びマスコミの活用等の広報活動の拡大で、発表校及び中・高校への参加を呼び掛け等で輪を広げたい。 【行政】 会場施設の仮予約は、事業終了直後に行う。 参加者・参加校の減少が引き続き課題であり、早期の講師の選定、各学校への参加依頼、広報活動の工夫が必要である。環境出前講座を利用された学校に参加いただける場合が多いため、出前講座の利用促進も力を入れる。		



# 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

資料 4-16

提出日	令和 元年 8月 2日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	環境課
	記入者名	浅見 祥子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	緑化推進事業	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行政	環境課環境保全係
事業の目的	ゴーヤのカーテンの設置を希望する公共施設に対して、ゴーヤの苗を配布し施設管理者調整の上、設置作業を実施する。	
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 苗の準備(含む育苗)</li> <li>2 環境課に希望申請した公共施設に、苗を配布(5~6月)。</li> <li>3 施設管理者からの希望により、苗植作業の実施。</li> <li>4 施設管理者に、水やり等の管理の指導及び情報提供。</li> <li>5 施設管理者の希望により、ネットの取り外し作業の実施(10月頃)。</li> <li>6 環境課は公共施設との連絡窓口</li> <li>7 問題発生時は双方で競技の上対処する。</li> </ol>	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	旭地区センター、市民交流センターおあしす、老人福祉センター、少年センター、東部市民サービスセンターで実施	
協働事業決算	総額 61,020 円(内委託費 42,350円)	
	簡単な内訳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 種代 34,000円</li> <li>2 堆肥等育苗 22,000円</li> <li>3 ネット張り用の縄 5,000円</li> <li>4 スタッフ人件費は実績には計上せず(委託費には含む) (担当3名、延べ70工数)</li> </ol>
実施期間	令和元年年 5月 1日 から 令和 元年 7月 31日(一部10月末) まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和 元年 7月31日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 1 3月に種を購入及び育苗を開始、年度初の確認通りに、前広に対応出来たものの苗の発育が悪く(天候の影響)苦勞した。 2 早期に確認打合せが出来た事で、円滑に進んだ。 【行政】 早期に公共施設等と日程調整・連絡ができ、当初計画どおり事業を実施できた。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 1 作業開始前に、業務内容の確認と役割分担等の確認が重要。 2 市役所での実施がなくなったのは寂しいが、今後は市民啓発及び企業へ注力。 【行政】 日程調整だけでなく作業人員、作業内容について団体と確認が必要。 担当スタッフの高齢化に伴い来年度以降の事業継続の検討が必要である。		

# 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

資料 4-17

提出日	令和2年 1月 29日	
記入者	団体等名	環境ネットワークよしかわ
	記入者名	島崎 允行
	部署名	市民生活部環境課
	記入者名	高橋 良幸

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	マイバッグ推進事業	
事業の実施者	団体等	環境ネットワークよしかわ
	行政	環境課
事業の目的	市内のスーパーマーケット等において、マイバッグについての意識調査、利用状況調査を行い、併せてマイバッグの利用促進のPR活動を行う。	
事業の内容	1. 啓蒙用の掲示板作成 2. 環境課と相談の上、店舗においてマイバッグとマイクロプラスチック問題についての意識調査及び啓発活動を実施 3. 雑がみ分別の実施状況について意識調査 3. アンケート調査等で、認知度調査を100人以上目標に実施 4. 集計結果の報告 ※マイクロプラスチック問題については、国がレジ袋有料化を決定したことと海洋マイクロプラスチック問題の広がりを受けて啓蒙活動に加えた。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	6月7・8日「環境展」(於;おあしす)、7月24日夏休みワクワクエコ教室「マイバッグづくり体験」、10月25～27日「イオン吉川美南店」、11月17日「吉川市民まつり」	
協働事業決算	総額 50,700円(内委託事業費46,200円)	
	簡単な内訳	1. 啓発用掲示板作成及び啓発グッズ製作 26,700円 2. スタッフ (30工数) 24,000円
実施期間	平成元年 5月 1日 から 令和2年 1月28日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日：令和2年 1月28日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 1. レジ袋有料化が国の施策として決定し、今後はその徹底が大事。 2. 海洋マイクロプラスチック問題がクローズアップ、ノーレジ袋と合わせて運動の巾を広げたい。  【行政】 1. レジ袋の有料化が決定したことを契機に、これまで関心を示していなかった市民に対しても、海洋マイクロプラスチック問題と併せマイバッグ利用の意識付けを行える機会と捉えている。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 1. ノーレジ袋運動及び海洋マイクロプラスチック問題啓発と一体となった取り組みをする。 2. エコショップ店舗と協働での活動と運動の巾を広げる。  【行政】 1. 本年度は、新たな意識調査の方法を試みたが、次年度についても市民が興味を示し意識付けぬも繋がる効果的は啓発活動を行いたい。		

# 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

資料4-18

提出日	令和2年 3月 19日	
記入者	団体等名	NPOアニマルボランティア援助良
	記入者名	馬巻 多佳子
	部署名	市民生活部環境課
	記入者名	浅見 祥子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	地域猫活動補助金	
事業の実施者	団体等	NPOアニマルボランティア援助良
	行政	市民生活部環境課
事業の目的	野良猫の減少、野良猫による迷惑行為の減少を図り、地域の生活環境を改善すること。	
事業の内容	野良猫を捕獲し、不妊・去勢手術を実施することで、野良猫の増加を抑制する。 ①飼い主のいない猫を捕獲する。②捕獲した猫を動物病院で不妊去勢手術する。③繁殖制限措置を施した猫については、元の場所に戻して管理する。④定期的に排泄物の処理を行う。⑤決まった時間・場所で餌をやり、食べ残しは速やかに片づけるとともに周辺の清掃を行う。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	野良猫の総手術頭数: 178匹(オス: 88匹、メス: 90匹) 活動人数: 9名 (参考)R1 年度さくら猫無料不妊手術チケット配布枚数: 130枚	
協働事業決算	総額	421,352(市補助金 400,000 円)
	簡単な内訳	不妊去勢手術費: 109,940 円 飼料費: 311,412 円
実施期間	令和元年 7月 2日 から 令和 2年 2月 28日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和 2年 3月 10日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 今年度より始まったさくら猫無料チケットとの併用もあり、市から対応依頼を受けた相談は、野良猫の不妊手術を実施することでトラブルなく解決できた。  <b>【行政】</b> さくら猫無料チケットとの併用により、ボランティア団体の手術費用負担が軽減され、迅速な相談対応が可能になった。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 吉川美南高校付近に手術未実施の野良猫が残っていることから、令和2年度も引き続きさくら猫チケットと地域猫活動補助金を併用して野良猫の不妊手術を実施していく。  <b>【行政】</b> どうぶつ基金のさくらねこチケットの交付と並行して引き続き事業を実施していく。		

# 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

資料4-19

提出日	令和 2 年 2 月 14 日	
記入者	団体等名	吉川ほたるの会
	記入者名	会長 森田 保
	部署名	産業振興部 農政課
	記入者名	新實 真生

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	市民農園ほたる鑑賞会	
事業の実施者	団体等	吉川ほたるの会、吉川市市民農園管理組合
	行政	吉川市産業振興部農政課
事業の目的	地域の活性化を目指し、吉川市市民農園内において市民向けのほたる鑑賞会を開催する。	
事業の内容	今年度完成したほたるドーム内で鑑賞会を実施した。また、打上花火、田んぼバー、ミニマルシェも同時開催し、イベントの少ない旭地区で夏祭りをイメージした鑑賞会を開催することができた。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	開催日数:2日間 来場者数:1日目 730名、2日目 530名 合計:1260名	
協働事業決算	総額 89,122 円 (うち市負担分 0円)	
	簡単な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ弁当代:65,000 円</li> <li>・飲み物代:24,122 円</li> </ul> <p>市の負担 ・市民農園(瑞所)の貸出し ・人員</p>
実施期間	令和元年 6月 29日 から 令和元年 6月 30日 まで	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日：令和元年 7月10日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 屋外鑑賞ゾーンや、駐車場などの安全管理。 来場者用駐車場の確保や、よりよい鑑賞会場のレイアウトの検討が必要。  <b>【行政】</b> 来場者用駐車場の確保や、よりよい鑑賞会場のレイアウトの検討が必要。 ほたるドームで実施するのは初めてだったので安全確保が必要。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 鑑賞会場のレイアウトの検討を行う。 より充実したイベントの開催を目指す。  <b>【行政】</b> 消防団やほたるの会会員と連携して参加者の安全確保に努める。 来年度はほたるドームも完成するので、多くの集客を見込める。		



# 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

資料4-20

提出日	令和 2 年 4 月 20 日	
記入者	団体等名	吉川市国際友好協会
	記入者名	会長 立澤 秀子
	部署名	学校教育課
	記入者名	森谷 浩幸

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	外国人児童生徒への日本語学習支援	
事業の実施者	団体等	吉川市国際友好協会
	行政	学校教育課
事業の目的	市内小・中学校に就学する外国籍児童・生徒のうち、日本語の理解力が不足しているために、円滑な学校生活を送ることが困難な児童・生徒に対して個別に日本語学習支援を行うことで、円滑な学校生活を送るとともに、学力の向上を図る。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸外国から入国(転入)し、市内小・中学校へ就学した児童・生徒のうち、日本語の理解力が不足していると認められる場合に、学校長からの申請に基づき、市教育委員会(学校教育課)が日本語学習支援業務の委託先である吉川市国際友好協会へ支援活動を依頼する。</li> <li>・吉川市国際友好協会は、支援対象児童・生徒、学校等と調整の上、支援活動担当者、活動日等を決定し、市教育委員会及び学校へ通知し、活動を開始する。</li> </ul>	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	対象児童・生徒 20人	
協働事業決算	総額 491,000 円	
	簡単な内訳	活動単位 一時限 小学校45分、中学校50分 一時限あたりの委託料 1,000円
実施期間	平成31年4月8日 から 令和2年3月26日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日：令和2年 4月15日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 支援授業時間毎の活動報告書を支援者毎に作成し、課題を相互に確認することが出来た。 児童生徒により個人差があり、コミュニケーション能力の向上を目指した。  <b>【行政】</b> 活動報告書により団体と学校間での情報の共有は図られている。より一層の綿密な連携が望ましい。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> 本事業の意図を支援スタッフにも理解してもらい、児童生徒の能力向上をより高める。  <b>【行政】</b> 教職員に対しても本事業の意図を理解してもらおう。 引き続き、国際友好協会、学校、市教育委員会間で必要に応じた連携を図れるようにする。		

# 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

資料4-21

提出日	令和2年4月24日	
記入者	団体等名	関小アドバンスクラブ
	記入者名	吉澤 力
	部署名	吉川市教育委員会生涯学習課
	記入者名	石橋 ゆみ

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	子どもの体験活動事業	
事業の実施者	団体等	関小アドバンスクラブ
	行政	教育委員会生涯学習課
事業の目的	家庭・地域・学校が一体となって子どもの生きる力を育むため、各小学校区で実行委員会を設置し様々な体験事業等を企画し、子どもたちに奉仕活動や体験活動などを推進する。	
事業の内容	サッカー教室や鮭の放流会、流しそうめん、フラワーアレンジメントなどの体験活動を実施する実行委員会へ交付金を交付する。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	(令和元年度実績) ○吉川小学校区 6事業 113名      ○北谷小学校区 3事業 237名 ○旭小学校区 2事業 83名      ○栄小学校区 4事業 199名 ○三輪野江小学校区 3事業 300名      ○中曽根小学校区 7事業 133名 ○関小学校区 67事業 1,957名      ○美南小学校区 10事業 1,212名	
協働事業決算	総額 368,497円	
	簡単な内訳	交付金368,497円
実施期間	平成31年 4月 1日 から 令和2年 3月31日 まで	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり振り返り段階

話し合いをした日： 令和2年4月24日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> ・活動拠点である、学校の先生方の協力は不可欠であること。 ・講師の先生方の協力なくして成り立たない事業である。(地域の方々の協力)  <b>【行政】</b> 活動を継続するにあたって、人材の確保が難しい学校区があることを話し合い、事業に負担をかけずに行える手法を話し合った。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) <b>【団体】</b> ・離任される担当の先生方が、引継ぎ等をスムーズに行うことが重要 ・年度が替わる時には、新しい体制において打ち合わせ等を実施する <b>【行政】</b> 生涯学習メニューブックの活用やイベントの共同開催などにより負担を軽減する手法を共有した。		

## 吉川市協働事業評価シート\_2017.ver1.1

提出日	令和2年4月24日	
記入者	団体等名	指定管理者OITグループ
	記入者名	加門 保
	部署名	吉川市教育委員会生涯学習課
	記入者名	岡庭 直樹

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	市民交流センターおあしす指定管理者事業	
事業の実施者	団体等	指定管理者OITグループ
	行政	教育委員会生涯学習課
事業の目的	市民交流センターおあしす、市立図書館、視聴覚ライブラリー、中央公民館図書室、旭地区センター図書室の管理運営に関し、指定管理者制度を導入することにより、多様な事業者の活用や柔軟な発想を生かし、これまで以上に利用者本位のサービスを提供し、効率的な経営の推進を図る。	
事業の内容	市民交流センターおあしすや市立図書館をはじめとする各図書室の運営と管理を行うとともに、おあしす運営協議会や図書館協議会を開催する。また、利用者に対する満足度調査を行う。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	(令和元年度実績) おあしす利用実績 利用件数: 7,750件、利用人数: 109,742名 市立図書館利用実績 貸出冊数: 453,887冊、利用人数: 108,633名、 入館者数: 200,497名	
協働事業決算	総額 214,519,000円	
	簡単な内訳	施設管理業務委託料 214,519,000円
実施期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○×式）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり振り返り段階

話し合いをした日：令和2年4月24日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 施設の老朽化により、雨漏りはたいぶ改善したが空調設備や舞台設備などの設置に心配があること、また、市役所に隣接する施設であるため、駐車場の管理などに話し合った。 <b>【行政】</b> 開館から20年が経過する施設・設備の老朽化による修繕や交換が多くなっていることもあり、今後の対応について話し合った。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 市と指定管理者との改善分担により、施設運営に支障をきたさないような対応をとるとともに、駐車場の管理について調整をしていくことを話し合った。 <b>【行政】</b> 修繕などは費用面での課題はあるが、施設運営に支障をきたさないよう対応していくことを話し合った。		

# 吉川市協働事業評価シート\_2020.ver1.2

資料4-23

提出日	年 月 日	
記入者	団体等名	子育て広場プーさん
	記入者名	嶋田 曜子
	部署名	生涯学習課 中央公民館
	記入者名	新井 詠美子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	幼児家庭教育学級(赤ちゃんサロン)「ゼロママ集まれ！」	
事業の実施者	団体等	子育て広場プーさん
	行政	吉川市中央公民館
事業の目的及び目標値	子育て中の母親が抱える子育ての不安・悩みやストレス等を解消する一助となるよう、「子育て広場プーさん」と協働で開催し、年齢の近い子どもを持つ母親が集まる場を提供するだけでなく、専門の講師等から有用な知識や技術を得ることができる事業を展開する。	
事業の内容	わらべ歌・絵本の読み聞かせ、ピラティス、救急救命講習、ベビーマッサージなど	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	実施回数 全8回 参加者数 120組 240人	
協働事業決算	総額16,000円 (うち市負担分16,000円)	
	簡単な内訳	会場使用料免除 印刷代は市が負担 講師謝礼金16,000円負担
実施期間	平成31年 4月18日 から令和 2年 2月22日まで	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり振り返り段階

話し合いをした日： 令和 2年 1月22日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 参加してよかったとの参加者の声が多かった。  【行政】 少人数の会で落ち着いてできてよかったとの声が多かった。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 来年度も皆様のご協力をいただきながら、今年度同様の活動をしていきたい。  【行政】 来年度についても同様の活動をしていく。		



# 吉川市協働事業評価シート\_2020.ver1.2

資料4-24

提出日	年	月	日
記入者	団体等名	よしかわ子育てネットワーク	
	記入者名	中島 真由美	
	部署名	生涯学習課 中央公民館	
	記入者名	新井 詠美子	

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	幼児家庭教育学級(子育てサロン)「みんなで話・和・輪！」		
事業の実施者	団体等	よしかわ子育てネットワーク、子育て広場プーさん、更生保護女性会	
	行政	吉川市中央公民館	
事業の目的及び目標値	核家族化が進む中、周辺近所との人間関係が希薄になってきている現代で、子育てしている母親は、潜在的に子育ての悩み・不安・ストレスを抱えており、それらを解消する機会を提供するとともに、同世代の子どもを育てる母親同士の交流ができる場を提供し、よしかわ子育てネットワーク、子育て広場プーさん、更生保護女性会と協働で開催するものです。		
事業の内容	わらべ歌・絵本の読み聞かせ、体操、季節の遊び、グループトークなど		
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	実施回数 全9回 参加者数 134組 284人		
協働事業決算	総額	0円 (うち市負担分 0円)	
	簡単な内訳	会場使用料免除 印刷代は市が負担	
実施期間	平成31年 4月18日 から令和 2年 2月20日まで		
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助		

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり振り返り段階

話し合いをした日： 令和 2年 2月20日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 ・子育てネットワークスタッフの人数が少ない中、更生保護女性会と子育て広場プーさんのスタッフがいつもより多く参加してくださったため、2人目の赤ちゃんをつれたママたちが多かったが対応できました。 ・手作りのコーナーがいつもよくできていると思います。 ・赤ちゃんを見ていたが、その赤ちゃんのママが最後まで様子を見に来ることがなかったので、時々は見に来るようご案内した方が良かったのではないかと思います。 【行政】 子育てネットワークのスタッフが少ないことで、ネットワークでも負担が大きいということであれば、参加組数や開催日数を減らすなどの方法もあると思われる。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 来年度も皆様のご協力をいただきながら、今年度同様の活動をしていきたい。  【行政】 来年度についても同様の活動をしていく。		

# 吉川市協働事業評価シート\_2020.ver1.2

資料4-25

提出日	年 月 日	
記入者	団体等名	えほんのひろば
	記入者名	久田 初恵
	部署名	生涯学習課 中央公民館
	記入者名	新井 詠美子

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	えほんのひろば	
事業の実施者	団体等	えほんのひろば
	行政	中央公民館
事業の目的及び目標値	絵本の素晴らしさに触れ、親しみを感じ、子どもたちが豊かな心を育むことを目的に、えほんのひろばのボランティアスタッフと共に開催するものです。	
事業の内容	お楽しみ会や、七夕、クリスマスのイベントなどを実施。ボランティアスタッフによる絵本の読み聞かせや遊び、ゲームなどを行う。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	実施回数 全4回 参加者数 120人	
協働事業決算	総額 6,197 円 (うち市負担分0円)	
	簡単な内訳	会場使用料は免除 印刷代は市が負担
実施期間	平成31年 4月21日 から令和 2年 2月 1日まで	
協働の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日： 令和 2年 2月 1日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	○	○
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 他の公共施設でも同じようなイベントが予定されている場合参加者が少なくなることがある。  【行政】 2月については、新型コロナウイルス等の影響もあったと考えられる。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 周知の面で近隣の保育所や幼稚園にチラシを配布してはどうか。  【行政】 他の主催事業と合わせてチラシを作り配布するようになりたい。		

# 吉川市協働事業評価シート\_2020.ver1.2

資料4-26

提出日	令和 2年 4 月 25 日	
記入者	団体等名	社会福祉法人彩凜会
	記入者名	辻 健人
	部署名	吉川市選挙管理委員会
	記入者名	鈴木利明

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	選挙啓発業務委託	
事業の実施者	団体等	社会福祉法人彩凜会
	行政	吉川市選挙管理委員会
事業の目的及び目標値	選挙啓発品を配布し、選挙の周知及び投票率の向上を図る。	
事業の内容	吉川駅及び吉川美南駅周辺で選挙啓発品(ティッシュ)を配布する。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	<p>【参議院議員選挙】4日間(7/15~7/21 吉川駅ロータリー及び吉川美南駅自由通路で各2日間)、延べ16人</p> <p>【埼玉県知事選挙】4日間(8/19 ~8/25 吉川駅ロータリー及び吉川美南駅自由通路で各2日間)、延べ16人</p> <p>【参議院議員補欠選挙】4日間(10/20~10/27 吉川駅ロータリー及び吉川美南駅自由通路で各2日間)、延べ16人</p> <p>【市議会議員選挙】4日間(1/20 ~ 1/26 吉川駅ロータリー及び吉川美南駅自由通路で各2日間)、延べ16人</p>	
協働事業決算	総額 130,800円 (うち市負担分 130,800円)	
	簡単な内訳	手当、駐車場代 【参議院議員選挙】32,400円 【埼玉県知事選挙】32,400円 【参議院議員補欠選挙】33,000円 【市議会議員選挙】33,000円
実施期間	令和1年 7月15日 から 令和2年 1月26日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返し段階

話し合いをした日： 令和2年 4月21日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	×	×
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 課題としては、吉川駅と吉川美南駅の乗降客数の差、利用ピークタイムの差があり、駅利用者に公平に配布できているかとは断言しにくい。 <b>【行政】</b> 限られた期間（期日前投票期間）で、啓発品配布時間や天候によっても成果が左右される事業である。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） <b>【団体】</b> 特になし。 <b>【行政】</b> 特になし。		

# 吉川市協働事業評価シート\_2020.ver1.2

資料 4-27

提出日	令和 2年 4 月 25 日	
記入者	団体等名	社会福祉法人彩凜会
	記入者名	土屋
	部署名	選挙管理委員会
	記入者名	鈴木

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	車いすレンタル	
事業の実施者	団体等	社会福祉法人彩凜会
	行政	吉川市選挙管理委員会
事業の目的及び目標値	足が不自由な有権者がスムーズに投票できるよう、期日前投票所及び各投票所に車いすを用意するもの。	
事業の内容	期日前投票所及び投票所で使用する車いすをレンタルする。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	<p>【参議院議員選挙】期日前投票所用：2台(7/14 ~ 7/22) 各投票所用：15台(7/19 ~ 7/22)</p> <p>【埼玉県知事選挙】期日前投票所用：2台(8/8 ~ 8/26) 各投票所用：14台(8/23 ~ 8/26)</p> <p>【参議院議員補欠選挙】期日前投票所用：2台(10/10 ~ 10/28) 各投票所用：14台(10/25 ~ 10/28)</p> <p>【市議会議員選挙】期日前投票所用：3台(1/17 ~ 1/27) 各投票所用：14台(1/25 ~ 1/27)</p>	
協働事業決算	総額 117,612円 (うち市負担分 117,612円)	
	簡単な内訳	<p>【参議院議員選挙】 30,294円</p> <p>【埼玉県知事選挙】 28,512円</p> <p>【参議院議員補欠選挙】 28,512円</p> <p>【市議会議員選挙】 30,294円</p>
実施期間	令和1年 7月 4日 から 令和2年 1月27日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	○	○
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり振り返り段階

話し合いをした日： 令和2年 4月18日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	×	×
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題(共有・認識の差等)を話し合い、共有しましたか。(記述式) 【団体】 地域や行政とのつながり、地域に貢献できるもので、より良い機会となった。  【行政】 搬入・搬出日については、余裕を持った日程で調整していく。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。(記述式) 【団体】 特になし。選挙日程も事前に連絡をいただいております、スムーズ。  【行政】 特になし。		



提出日	令和 2年 4月 25 日	
記入者	団体等名	朗読サークル きんもくせい
	記入者名	那須佳都栄
	部署名	選挙管理委員会
	記入者名	鈴木利明

## 1 | 協働事業の概要

協働事業名	選挙公報音声版作成	
事業の実施者	団体等	朗読サークルきんもくせい
	行政	吉川市選挙管理委員会
事業の目的及び目標値	視覚に障害を持つ有権者の選挙権行使に便宜を図るため、選挙公報の音声版を発行する。	
事業の内容	市議会議員選挙の選挙公報を読み上げ、音声版 CD を作成する。	
事業の実績 (実施回数、参加者数など)	音声CD作成	
協働事業決算	総額	5,000円 (うち市負担分 5,000円)
	簡単な内訳	報償費 5,000円(音声版選挙公報謝礼)
実施期間	令和2年 1月14日 から 令和2年 1月20日 まで	
協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助	

## 2 | 協働プロセス評価（自己評価・相互評価）

この検証シートは、協働事業実施に伴う各ステップで、必要なことができていたかどうかを振り返りながら、次の協働事業へ活かすため、相互の視点から評価を行うものです。

なおこのシートは団体等・行政で話し合い、1枚のシートを作成してください。（○・△・×のうちいずれか）

### ①事業計画段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	目的や目標は、事前に共有できましたか。	○	○
2	相手の立場や特性を理解し、事業に臨めましたか。	○	○
3	事業計画等は相互に協議し合意の上、決定しましたか。	○	○
4	情報共有やコミュニケーションは図られましたか。	○	○
5	相互の特性を活かした役割分担を行えましたか。	○	○

### ②事業実施段階

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	お互いの役割を果たすことができましたか。	○	○
2	進捗状況や事業に関する情報共有はできましたか。	○	○
3	計画通りに事業の実施ができましたか。	△	△
4	計画等の修正は、相互協議し合意の上で行いましたか。	○	○
5	課題発生時はお互いに協議し柔軟に対応できましたか。	○	○

### ③ふり返り段階

話し合いをした日： 令和2年 1月 7日

No	ふりかえり項目	団体等	行政
1	事業報告書など、成果等が受益者に見えるような報告書などは作成しましたか。	×	×
2	事業の目的・目標は達成できましたか。	○	○
3	この事業は協働で行う必要がありましたか。	○	○
4	協働して実施することで相乗効果が得られましたか。	○	○
5	事業を振り返り、どのような課題（共有・認識の差等）を話し合い、共有しましたか。（記述式） 【団体】 候補者の人数が多く、かつ、原稿をいただくまでに時間がかかり、当初予定日より録音日数が増えた。  【行政】 選挙公報の提出締切から投票日までの期間が短く、候補者も多いことから、作業時間がかなり制約されてしまう。		
6	上記課題を踏まえ、次年度の協働事業に繋ぐため、どのような改善策を話し合い共有しましたか。（記述式） 【団体】 原稿の締め切り日を立候補の方々に守っていただくようお願いしたい。  【行政】 原稿の提出期限の周知徹底を図っていきたい。		